

令和 6 年度 第 3 回静岡市入札監視委員会議事概要

開催日時	令和 7 年 1 月 31 日（金）午前 10 時 00 分から午前 11 時 15 分まで
開催場所	静岡市役所 静岡庁舎新館 10 階 契約課入札室 及び ZOOMを使用したオンライン開催
出席委員	委員長 坂本 真樹 （静岡大学） 委 員 浅野 裕史 （公認会計士） 中村 光央 （弁護士） 仁木 将人 （東海大学）
説明のため出席した 職員（審議順）	上下水道局 下水道部 下水道施設課 経済局 農林水産部 中山間地振興課 都市局 建築部 公共建築課 建設局 道路部 葵南道路整備課
事 務 局	契約課長、外 5 名
議題・報告	1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査 （抽出事案は別紙 1 のとおり） 2 低入札価格調査結果について 3 入札参加停止等措置の状況について
委員からの意見・質問 等とそれに対する回答	別紙 2 のとおり

抽出事案一覧表

別紙 1

No	件 名	入札・契約方式	担当課
①	令和 6 年度下施工第 2201 号 城北浄化センター汚泥濃縮機械設備改築工事	制限付一般競争 入札	下水道施設課
②	令和 6 年度農中建第 1 号 梅ヶ島新田温泉浴場外構工事	指名競争入札	中山間地振興課
③	令和 6 年度小中第 13 号 蒲原小中一貫校校舎外 1 件建築工事	随意契約	公共建築課
④	令和 6 年度小中工委第 7 号 蒲原小中一貫校校舎建設工事監理業務委託	制限付一般競争 入札	公共建築課
⑤	令和 6 年度小中工委第 2 号 藁科地域小中一貫校整備事業設計業務委託	随意契約	公共建築課
⑥	令和 6 年度葵南市道委第 9 号 伝馬町新田 7 号線用地測量業務委託	指名競争入札	葵南道路整備課

1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査	
① 令和 6 年度下施工第2201号 城北浄化センター汚泥濃縮機械設備改築工事	
質問	回答
Q1（浅野委員） この機械は、施設全体の改修をしているのですか。	A1-1（下水道施設課） 重力濃縮槽については、汚泥をかき寄せる機械の取り替えを行います。加圧浮上槽については、一式を取り換えます。型式を変えて、ベルト型濃縮器というものに取り替えを行うものです。
Q1-2（浅野委員） 既設の機械は、受注者である株式会社クボタの機械ですか。	A1-2（下水道施設課） 既設の業者は、株式会社タクマでした。
Q1-3（浅野委員） 株式会社タクマが参加しなかったのには、理由があるのでしょうか。	A1-3（下水道施設課） 時期は不明ですが、株式会社タクマがこの汚泥濃縮事業から撤退しているため、参加しませんでした。
Q2-1（坂本委員長） 今回加圧浮上層をベルト型汚泥濃縮機に変えたということなんですが、それを変えるにあたっての設計も株式会社クボタにやってもらっていたということでしょうか。	A2-1（下水道施設課） 設計業務委託は別で発注させていただいてまして、トータルコストの観点からベルト型汚泥濃縮機に変える方針で設計をいたしました。
Q2-2（坂本委員長） 設計と今回の改修は別発注ということでしょうか。	A2-2（下水道施設課） そのとおりです。
② 令和 6 年度農中建第 1 号 梅ヶ島新田温泉浴場外構工事	
質問	回答
Q1（浅野委員） 複雑な工事にはみえないが、辞退者が多いのはなぜでしょうか。	A1（中山間地振興課） 指名した業者の当時の手持ち工事の状況による影響があったかと想定されます。また、今回の施

Q2（中村委員） 入札結果表を見ると、今回は予定価格が事前公表であり、2番目の株式会社新村組と株式会社白鳥建設の入札金額の差が4万円となっていて、少し不自然な気もするがこのようなことはよくあることですか。	工場所が山間僻地、今回梅ヶ島ということで、施工場所と指名した各事業所で、距離的に採算を取ることが難しくなってしまった業者が多かったというところが辞退の理由として推測されます。 A2（事務局） 事前公表ですと、比較的に見受けられる状況ではあると思います。
③ 令和6年度小中第13号 蒲原小中一貫校校舎外1件建築工事	
質問	回答
Q1-1（浅野委員） 小中一貫校というのは、今は一般的で事務的な組織もすべて一緒になる、スリム化するということですか。 Q1-2（浅野委員） 今回は、小中一貫となるから建て替えるのか、それとも建物の老朽化したために建て替えるのでしょうか。 Q1-3（浅野委員） 小中一貫校になるから建て替えるということではないのですね。 Q2-1（中村委員） 予定価格超過により不調となったということだが、再度発注する際の予定価格の	A1-1（公共建築課） 施設一体型となりますので、校長先生、教頭先生も一人ずつとなり、教員数は縮小されます。 A1-2（公共建築課） 既存校舎に耐震性能はありませんでしたので、耐震性が悪いということが、今回建て替える理由のひとつであります。 A1-3（公共建築課） そのとおりです。今までは、耐震性能が劣っているため耐震補強をする学校もありましたし、建て替えの方が良いと判断したものについては、小学校がそのまま小学校として建て替えというのはしてきました。ここ近年、過去の事例としましては、山あいの学校について小中一貫校というのを進めてきておりました。蒲原小中一貫校については、初めて市街地での小中一貫校を建て替えという形をとっております。 A2-1（公共建築課） 1回目の入札で不落となった後、入札に参加いただいた2者にヒアリングを実施しております。

設定について教えてほしい。	その結果、材料単価や労務単価の高騰により市が行った積算金額と、実勢価格の間に大幅な乖離がありました。この大幅な乖離があった工種について、再度、入札に参加した２者から見積もりを取り直し、改めて設計書を組み直したので、金額は増額しております。
Q2-2（中村委員） どれくらい増額していますか。	A2-2（公共建築課） 約４億円です。
Q2-3（中村委員） 20％近い金額が増額したということでしょうか。	A2-3（公共建築課） そのとおりです。
Q2-4（中村委員） 最初の積算が、資材の実勢相場に合っていない結果になってしまっていたということでしょうか。積算した時期がかなり早かったから、その後実勢相場がどんと上がってしまったということでしょうか。	A2-4（公共建築課） 設計自体は、去年の春頃、積算をし、入札手続きを済ましております。実際に入札があったのは夏前頃になりますが、そこで金額に大幅な乖離がありました。ただ、私どもの積算は通常通り標準の積算をしておりますし、物価版や積算資料などの積算単価を通常通り採用しているので、問題はなかったとは思っております。しかし、その積算資料自体も、（実勢に）追いついていないような状態だということは聞いております。
Q2-5（中村委員） せいぜい３～４ヶ月の期間だと思えますが、その期間で２０％も物価高騰するものなのでしょうか。受注してくれるところがなければ、金額を上げてやってもらわなければならないということなのかもしれないが、今後は、この物価上昇がある時代の中で、市で行った積算金額と、業者の見積もった金額の乖離はまたありうるということですか。	A2-5（公共建築課） 今回の工事については工事期間が１６ヶ月という長い期間で、工事をするようになります。また大きな規模な工事となりますので、職人さんを集めるのが非常に大変だということを、ヒアリングの中で聞いております。さらに、時期的に能登の地震ですとか、首都圏に職人がすごい取られているという状況であり、どうしても下請業者からの見積もりが高くなっているという傾向にあるというのを聞いております。今後、大規模な工事があるときには、実勢価格というのを慎重に見極めて、見積もりの採用をしていかなければいけないと思っております。

Q2-6（中村委員） 施工期間も長く、その間にまた物価上昇や人件費の上昇など、そのようなことを織り込んだ金額で 20% ぐらい高めの金額になったという理解でよろしいか。 Q3-1（仁木委員） 一度目の入札で意思を示したものが複数者いて、この 2 者にヒアリングを取って見積もりを取ったというような話だと思いますが、その複数者が実際は何者だったのでしょか。そしてなぜこの 2 者になったのでしょか。 Q3-2（仁木委員） 2 者しか応札しなかったことについて、何か原因はありますか。 Q3-3（仁木委員） 今の段階だからまだ参加してもらっているけれど、将来的に入札が成り立つのかという気がします。業者を育成するとか人材を育成することを並行して考えていかないといけないのかなと思います。	A2-6（公共建築課） はい。受注者から、下請け業者からの提出される見積りは 1 年先の工事ということも見据えた見積もり価格になっているということは聞いております。 A3-1（公共建築課） 複数と記載はしておりますが、実際に応札があったのは 2 者でした。 A3-2（事務局） おそらくではありますが、工事の施工期間が長い大規模な工事ですと、人の手配が難しいということで、業者さんは参加しづらいというのはあるようです。参加者が少ないというのは、契約課においても感じているところではあります。 A3-3（事務局） おっしゃるとおりです。
④ 令和 6 年度小中工委第 7 号 蒲原小中一貫校校舎建設工事監理業務委託	
質問	回答
Q1（浅野委員） 一般競争入札で一者しか参加がなかったことについて、何か想定される理由がありますか。	A1（公共建築課） 設計者と異なる第三者による工事監理も可能と判断しまして、今回は一般競争入札としました。しかし、一般的には設計した業者が工事を監理する傾向にあることから、設計業者が応札し落札したということと考えております。

Q2-1（中村委員） 一般の民間工事でも、設計と監理は大体一括で契約をしてる例が多いと思うのですが、静岡市としては、設計は設計、監理は監理と切り離してでも十分やっていけるという判断して入札しているということでしょうか。監理業務について、設計とは別の業者が入札に参加したというようなことはあるのでしょうか。 Q2-2（中村委員） 今回、規模的にかなり大きな工事ですが、静岡市としたら、監理業務を切り離してもやっていけるという判断をされた根拠はありますか。 Q2-3（中村委員） 実際に、切り離して発注し入札をしても参加するのは設計業者しかほとんどないということであれば、あまりやる意味がないのではないかな。逆に言えば、設計者に監理業務までを負担させた方が、相対的な金額においても下げられる可能性がある。バラバラにやるとやっぱりコスト的に上がってしまうんじゃないかなと思う。 Q2-4（中村委員） 特殊な事例は、切り離した方がいいだろうというのがあると思うが、工期も短いような案件であれば、一括で発注した方がコスト的にいいような気がするのでまたご検討ください。	A2-1（事務局） 数は少ないですが、何件かは（設計を行った業者ではない）第三者が監理業務の入札に参加し落札したことがあったかと思います。 A2-2（公共建築課） 今の静岡市の考え方としては、設計と監理は別々で発注していくという考えでおります。過去にも一括発注で契約をしたという事例はございません。 A2-3（事務局） 設計した後、すぐ工事を発注できれば良いのですが、計画の中で工事の発注が遅れることもあります。そうなると、監理業務が後出しになってしまうという事があったため、切り離して発注しています。一括発注できれば、もちろん金額は落ちると思いますが、市の政策なども踏まえて今のところ、分離発注をしております。ただ、今後研究は必要であると思っております
⑤ 令和6年度小中工委第2号 薬科地域小中一貫校整備事業設計業務委託	
質問	回答
Q1-1（中村委員） このプロポーザル方式というのは、静岡市の要望する内容に沿った提案ができる	A1-1（公共建築課） そのとおりです。

業者を選定するということの理解でよろしいか。	
Q1-2（中村委員） 今回この公募型プロポーザル方式に応募してきたのはこの１者だけだったということですか。	A1-2（公共建築課） ８者の応募があり、選考をかけました。
Q1-3（中村委員） 提案の内容を判断し、この１者を選定した上で、金額についての見積もりを出してもらって契約をしたということでしょうか。	A1-3（公共建築課） はい、プロポーザルによる審査によって、最有力候補者が決まって、そこと単独随意契約をしました。
Q1-4（中村委員） この業者の設計による建築金額は出されていますか。	A1-4（公共建築課） 設計金額と概算工事額についてはあらかじめ募集の段階で、こちらから提示をしております。プロポーザルの際に示した数字が、概算で 24 億円としております。
Q1-5（中村委員） 蒲原小中一貫校については鉄筋で、この藁科地域については木材の軸組工法で、工法に違いがあるのは何故ですか。	A1-5（公共建築課） 蒲原地区については、津波の危険性が高い地域のために、鉄筋コンクリート造としました。藁科地区につきましては、静岡市の中でも非常に林業が盛んな地域であります。今回、小学校と中学校の合併があったということもあり、オクシズの活性化等々を鑑み、木造が適しているのではないかとということで、地域材をふんだんに使えるような、一般流通材の軸組工法を選びました。
Q1-6（中村委員） 鉄筋コンクリート造とオクシズの木材軸組工法では、コスト面ではどちらが安いのですか。	A1-6（公共建築課） 実際の延床面積など条件が違いますが、木材の方が若干高くなります。
Q1-7（中村委員） ただ、木材に触れるという事でその方が子供たちにとってはいいわけですね。	A1-7（公共建築課） この地域の方々はお家で林業をやられてる方もいらっしゃいますし、地域で林業に携わっていて、非常に馴染みのある木材の中で、教育していただ

Q1-8（中村委員） （建築工事の概算金額 24 億円を受けて）蒲原小中一貫校の時と同じぐらいの金額ということですね。 Q1-9（中村委員） （藁科の場合も、蒲原の時と同様に）市の積算と、実際の応札してくる業者さんと金額の乖離がでてしまうということですか。	こうということです。 A1-8（公共建築課） はい、ただこちらの方が、延床面積が小さく約 3800 m²です。蒲原小中一貫校のほうは延床面積が約 7,300 m²で、藁科の倍ぐらいです。 A1-9（公共建築課） 今 2024 年問題もあって、全国的に建設に関しての入札が一般市場と役所の積算単価に対しての乖離が出ているような状況でありますので、入札について難しさはあります。木造が、平米単価で高いということはもちろんあるわけですが、蒲原の建物に比べると、藁科は 2 階建、横に長いということもあります。また地域において、大工さんを集めるのが非常に難しい現状がございます。そういったところが、単価に影響してくることもありますので、単純に木造が高いということではなく、施工業者が集まりにくいとか、構造がそもそも違いますので両者を単純比較するのは、なかなか難しいと思います。
⑥令和 6 年度葵南市道委第 9 号 伝馬町新田 7 号線用地測量業務委託	
Q1-1（浅野委員） 人工あたりの金額について、大体いくらぐらいでしょうか。 Q1-2（浅野委員） 測量協会のようなところで、そのような標準的な価格を設定しているのですか。 Q1-3（浅野委員） どの業者も、その単価に沿って見積もるということでしょうか。	A1-1（葵南道路整備課） 予定価格、積算金額に関しましては公表されている歩掛がありますので、今回はそちらの積算歩掛を採用しております。測量の内容（難易度）によって、技術者のランクが違いますが、おおよそ 1 人工当たり 2 ～ 3 万円の間で設定されていると思われます。 A1-2（葵南道路整備課） 労務費に関しては、技術者の単価についても国が示しており、地域ごとに価格設定されています。 A1-3（葵南道路整備課） そのとおりです。

2 低入札価格調査結果について	
質問	回答
案件なし	

3 入札参加停止等措置の状況について	
質問	回答
質疑なし	